

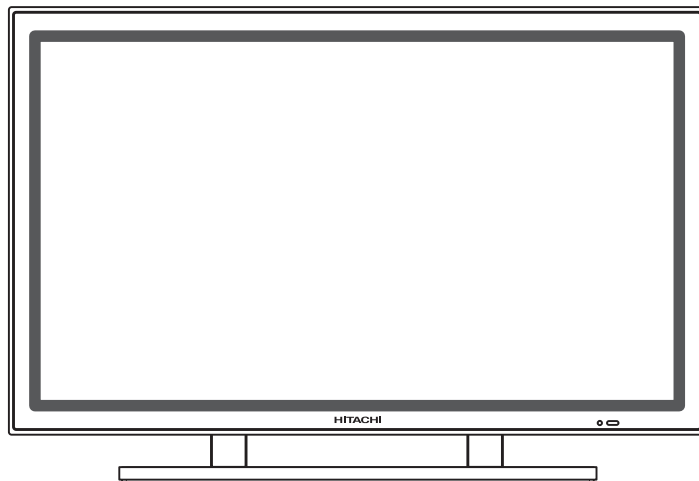
# HITACHI

## 日立プラズマディスプレイモニター

形名

# CMP4121HDJ 取扱説明書

**HI PLASMA**



(スタンドはオプション)

このたびは日立プラズマディスプレイモニターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

**ご使用の前に、必ず、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくご使用ください。**

お読みになったあとは、保証書とともに大切に保管してください。

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。



# 特 長

## 大画面・高精細プラズマディスプレイパネル採用

表示画素1024×1024の42型プラズマディスプレイパネルを採用し、高精細かつ大画面で薄型のフラット・ディスプレイを実現します。地磁気や周囲の電源ラインなどによる磁気の影響がないため、色ズレ・画面歪みのない高品質な表示をします。

## マルチメディア入力機能

RGB入力用としてミニDsub端子およびBNC端子を、ビデオ入力用としてコンポジット/S端子およびコンポーネント端子を装備しました。また、ループスルー機能としてコンポジットビデオ出力端子も用意しました。更にスピーカー出力端子も用意しました。パソコンから映像機器まで複数の機器を同時接続できます。

## マルチスキャンコンバータおよびフレックス・コントロールLSI採用

ビデオ信号(15kHz)から、コンピューターのアナログ映像信号まで広範囲な信号に対応します。さらに、ビデオ入力時は、専用LSIで信号処理を行うことで、より高画質な映像をご提供します。

## 簡単リモコンとオンスクリーン・ディスプレイ・システム

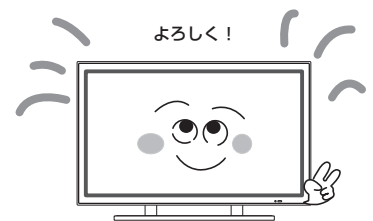
付属のリモコンにより簡単に画面調節ができます。さらに、オン・スクリーン・ディスプレイ・システムが信号の受信状態や調節内容をわかりやすく画面表示します。

## パワーセーブ対応

入力信号が無いときは、自動的に消費電力を抑えるパワーセービングシステムが働きます。国際エネルギースターのパワーセービングシステムを備えています。VESA DPMS対応のコンピューターに接続して使用すれば、未使用時の消費電力を抑えることができます。

## 主要規格クリア

電波障害自主規制VCCI-B基準適合の他、国内高周波抑制対策ガイドラインにも適合した高品質ディスプレイモニターです。



## 本書についてのご注意

- 本書の内容は、予告なしに変更することがありますのでご了承ください。
- 本書の内容は、万全を期して作成していますが、万一お気づきの点、ご不明な点がございましたらお買い上げの販売店または当社までご連絡ください。
- 運用に際しましては、ハードウェアやソフトウェアの仕様、制限などの前提条件を十分にご理解いただいたうえでご利用ください。誤って運用した結果につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本書の内容の一部あるいは全部を、無断で複製、転載しないでください。
- 本書に記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

# も く じ

|                      |    |
|----------------------|----|
| 特 長                  | 2  |
| 本書の見方                | 4  |
| 絵表示について              | 4  |
| 書式の概要                | 4  |
| 使用上のご注意              |    |
| (安全に正しくお使いいただくために)   | 5  |
| 安全上のご注意              | 5  |
| お守りください              | 10 |
| 設置方法                 | 11 |
| 標準付属品                | 3  |
| 据え付け                 | 11 |
| 転倒防止について             | 11 |
| 各部の名称                | 12 |
| 据え付け・接続              | 14 |
| リモコンの取り扱い            | 16 |
| 操作方法                 | 17 |
| 電源ON/OFF             | 17 |
| 入力切替                 | 18 |
| 音量調節                 | 18 |
| 音声ミュート（消音）           | 18 |
| コントラスト調節             | 19 |
| サイズ切り換え              | 19 |
| 入力信号画面表示             | 19 |
| オン スクリーン ディスプレイ システム | 20 |

|                 |    |
|-----------------|----|
| その他の機能          | 27 |
| 自動ストア           | 27 |
| リセット（登録内容の初期化）  | 28 |
| 信号チェック          | 28 |
| パワーセービングシステム    | 29 |
| 音声専用モード         | 29 |
| 故障かな…と思ったら      | 30 |
| 故障とまちがえやすい現象    | 30 |
| 正常に表示しない場合の対処方法 | 32 |
| 製品仕様            | 33 |
| 一般仕様            | 33 |
| 信号入力            | 33 |
| 推奨信号一覧          | 34 |

## 標準付属品

- この製品にはディスプレイモニター本体の他に、以下のものがふくまれておりますので、ご確認ください。
  - 万一、欠品がございましたらお買い上げの販売店へご連絡ください。



取扱説明書  
(本書)



リモコン  
送信機



単3形乾電池  
×2



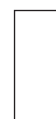
電源コード



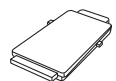
電源プラグ  
アダプター



信号ケーブル  
ミニD-Sub15ピン



保証書



ゴム足\*  
×2

\*ゴム足は壁掛設置等で本体スタンド用穴が目立つ場合にご使用ください。(取付方法は11頁参照ください。)

■ 取扱説明書(本書)および保証書は、よくお読みになって内容をご理解の上、いつでも確認できる場所へ大切に保管してください。

■ 梱包材は、将来の移動や輸送を考慮の上、保管してください。

# 本書の見方

## 絵表示について

- 製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。



### 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。



### 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり物的損害を発生する可能性があります。

絵表示の意味



気をつけなければならない。「注意」を示します。



感電に気をつけなければならない。「感電注意」を示します。



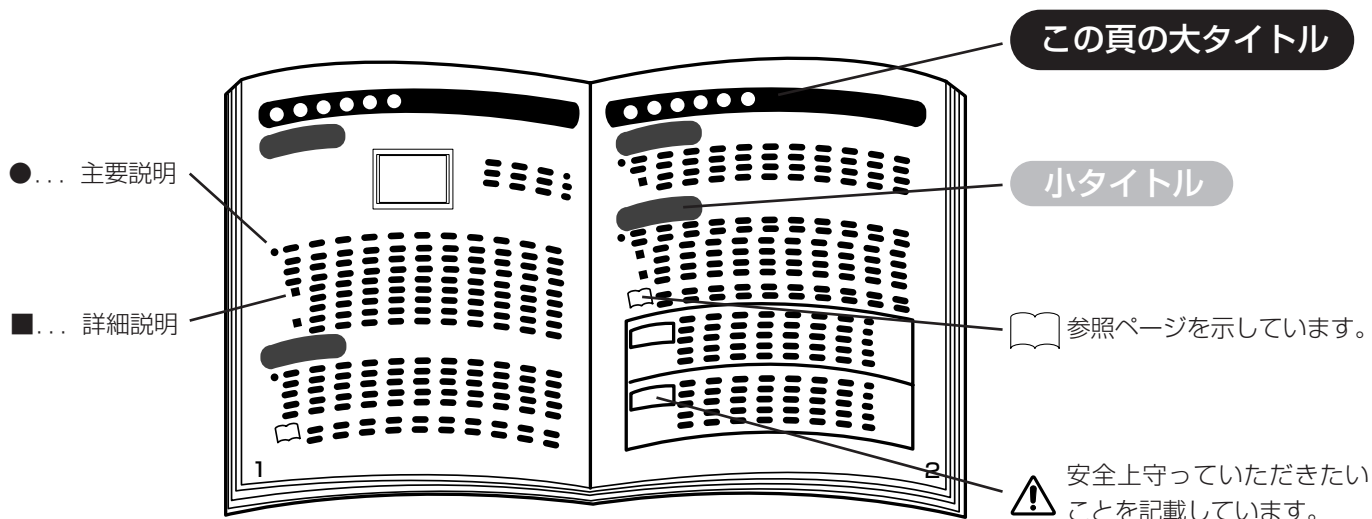
してはいけない。「禁止」を示します。



必ず行う。「強制」を示します。

## 書式の概要

- 本書では、タイトルの表示形式や文頭記号を、おおむね下図のように統一しています。

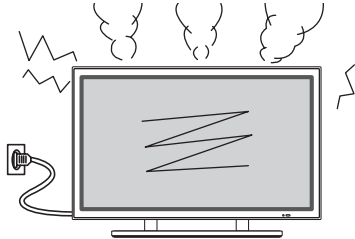


# 使用上のご注意 安全に正しくお使いいただくために

## 安全上のご注意

### 警告

#### ■ 異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜いてください



電源プラグをコンセントから抜くこと

異常、故障状態とは

- 煙が出ている、へんな臭いや音がする
- 画が乱れる・映らない、音がでない
- 本機の内部に異物(水、金属など)が入ったなど

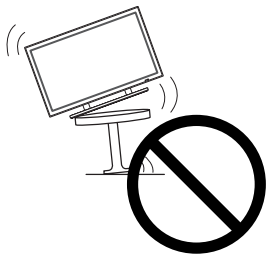
異常、故障状態のまま使用すると火災、感電の原因となります。

すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

## 設置をするとき

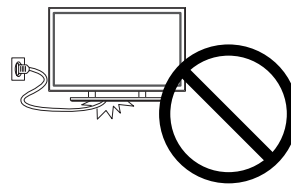
### 警告

#### ■ 不安定な場所に置かないでください



ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。

#### ■ 電源コードが本機の下敷にならないようにしてください



コードに傷がついて火災・感電の原因となります。

### 注意

#### ■ 湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たるところに置かないでください



火災・感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど

#### ■ 電源プラグなどの外部の接続線や転倒防止の処置をしたまま移動させないでください



火災・感電・けがの原因となることがあります。

# 使用上のご注意（つづき）

## 設置をするとき（つづき）

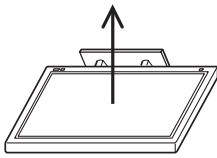
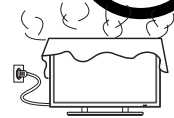
### ⚠ 注意

#### ■ 通風孔をふさがないでください

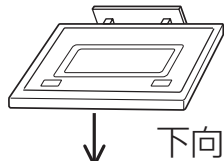


火災の原因となることがあります。通風孔を壁から10cm以上離して据えつけてください。特につぎのような使い方はしないでください。

- 本機をおお向けや横倒し、逆さまにする。
- 風通しの悪い狭い所に置く。
- じゅうたんや布団の上に置く。
- テーブルクロスなどを掛ける。



上向き



下向き

#### ■ 持ち運ぶときは衝撃を与えたり、落とさないでください



火災・感電・けがの原因となることがあります。

- 持ち運びは必ず2人以上で行ってください。

#### ■ 転倒防止の処置を行ってください



倒れると、けがの原因となることがあります。

#### ■ 電源プラグをすぐに抜くことができるように本機を据え付けてください



本機が異常や故障となったとき、電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておくと火災・感電の原因となることがあります。

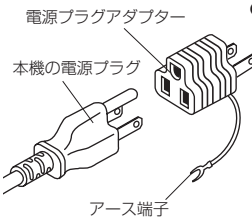
#### ■ キャスターのついた台に

乗せないでください



本機が動いたり、倒れたりするとけがの原因となります。

#### ■ 電源プラグアダプターご使用上の注意



- 本機の電源プラグはアース付き3芯プラグです。機器の故障・漏電時の感電防止および、電波障害防止のため、機器のアースは確実に接地してご使用ください。
- コンセントが2芯専用の場合は、アース工事が必要です。その上で付属の電源プラグアダプターを使用し、アース端子を接続してください。また、コンセントが3芯用の場合は、付属の電源プラグアダプターを外した状態で、使用してください。

アース接続は、必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離して行ってください。

#### ■ 本機の近くでラジオ・FMマイク等を使用されると、これらの機器に妨害を与える場合があります。



この場合は本機より離してご使用ください。

# 使用上のご注意（つづき）

## 使用するとき

### 警告

#### ■ 本機の近くに花びんなどを置かないでください



本機の内部に水などが入ると火災・感電の原因となります。

万一、入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。

●本機の上や周辺に花びん、水槽、植木鉢、コップ、化粧品、薬品などを置かないでください。



水ぬれ禁止

#### ■ 本機に水を入れたり、ぬらしたりしないでください



水ぬれ禁止

火災・感電の原因となります。

●雨天、降雪中、海岸、水辺での使用はさけてください。

#### ■ 風呂場やシャワー室で使用しないでください



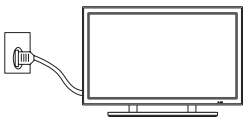
風呂場やシャワー室での使用禁止

火災・感電の原因となります。

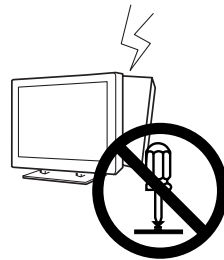
#### ■ 指定の電源電圧でご使用ください



本体に表示された電源電圧以外で使用すると火災・感電の原因となります。



#### ■ 裏ぶたやカバーをはずしたり、改造しないでください



分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。

内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

#### ■ 電源プラグの刃や周辺に付着した埃や金属類を取り除いてください



そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

お手入れは、電源プラグを抜いてから乾いた布で行ってください。

#### ■ 電源コードを傷つけないでください

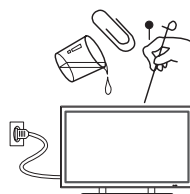


火災・感電の原因となります。

傷ついたら、電源プラグを抜いて販売店に交換をご依頼ください。

●傷つける、破損させる、加工する、無理に曲げる、重いものをのせる、加熱する、引っ張るなどをしないでください。

#### ■ 異物を入れないでください



通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりすると、火災・感電の原因となります。

万一、入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。

特にお子様にはご注意ください。

# 使用上のご注意（つづき）

## 使用するとき（つづき）

### 警告

- 雷が鳴り出したら、本機には触れないでください  
感電の原因となります。



接触禁止

- 衝撃を与えないでください



万一、本機を落したり、キャビネットを破損した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

### 注意

- 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください  
差し込みが不完全ですと発熱したりして火災の原因となることがあります。  
また、電源プラグの刃に触れると感電の原因となることがあります。



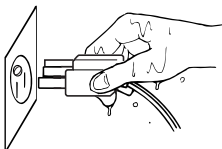
- 電源プラグは、ゆるみのあるコンセントに差し込まないでください



発熱して火災の原因となることがあります。  
ゆるみのある場合は、販売店に交換をご依頼ください。

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください

感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

- 本機の上に重いものを置かないでください



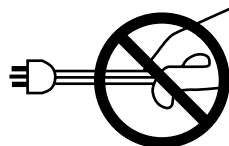
倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください



倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。  
特に小さなお子様にはご注意ください。

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください



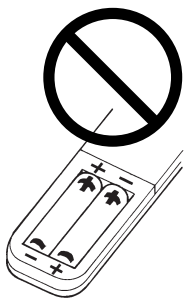
電源コードを引っ張ると電源コードが傷つき火災・感電の原因となります。

# 使用上のご注意（つづき）

## 使用するとき（つづき）

### ⚠ 注意

#### ■ 間違った電池の使い方を しないでください

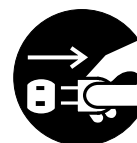
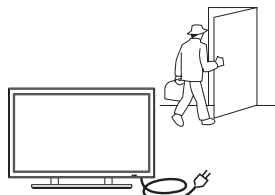


電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

特に、次の使い方はしないでください。

- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用
- リモコンの極性表示(プラスとマイナスの向き)とは逆向きでの電池の使用

#### ■ 長期間ご使用にならないときは 必ず電源プラグを抜いてください



電源プラグをコンセントから抜くこと

## お手入れするとき

### ⚠ 注意

#### ■ お手入れの際は、安全のため 電源プラグを抜いてください



電源プラグをコンセントから抜くこと

#### ■ 年に一度は内部の掃除を 販売店にご依頼ください



本機の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。

特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。内部の掃除費用については販売店にご相談ください。

# 使用上のご注意（つづき）

## お守りください

### ■ 高温になるところに

#### 置かないでください

キャビネットや部品に悪い影響を与えますので注意ください。

- 直射日光や熱器具の近くなど。

### ■ お部屋は適度の明るさで

暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。

### ■ 長時間連続して画面を見ていると

#### 目が疲れます

時々、画面から離れて目を休めてください。

### ■ 適度な音量で

特に夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたりして、隣り近所への配慮を十分し、生活環境を守りましょう。

### ■ 本機および本機の破片、付属品を廃棄するときは

本機および本機の破片、付属品などを廃棄する際は、必ず、販売店にご相談ください。

（廃棄を行なう地域の条例や規則に従ってください。）

本機は、特定家庭用機器再商品化（家電リサイクル法）の対象外商品です。

### ■ パネルのお手入れについて

本機のパネル表面は、柔らかい布（綿・ネル等）で軽く乾拭きしてください。



硬い布で拭いたり、強く擦ったりしますと、パネルの表面が傷付きますのでご注意ください。

指紋など油脂類の汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に布をひたし、絞って拭き取り、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

### ■ キャビネットのお手入れについて

- キャビネットの表面をベンジン、シンナーなどでふいたり、殺虫剤などの揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには、水にうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

特に、次の洗剤などは塗装を傷めますので使用しないでください。

- ・アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、みがき粉、粉石鹸、カーワックス類など

### ■ 搬送についてのご注意

- 引越しや修理などで本機を運搬する場合は、本機用の梱包箱とクッション材をご使用ください。

この製品は、電気用品安全法、技術基準第二項、附表2-2に基づくクラスB情報技術装置です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。

## お知らせ

### ■ ご覧になる位置は

画面のたての長さの5～7倍を目安にした場所でご覧になれば、見やすく疲れにくくなります。

# 設置方法

## 据え付け

- 本機は必ず別売りのスタンドCMPAD05または壁かけユニット（横置き用CMPAK04またはCMPAK05、縦・横置き用CMPAK14）、または天吊りユニット（CMPAT04）に取り付けてお使いください。

### ⚠ 注意

- 壁かけユニットおよび天吊りユニットの取り付けについては、危険ですから個人での取り付けは避け、販売店にお問い合わせの上、指定の取り付け工事業者に依頼してください。
- 本機内部の温度上昇を防止するため、背面の通気孔がふさがらないよう壁などから10cm以上（床置の場合）空間距離を保ってください。通風孔をふさぐと熱がこもり、故障や火災の原因となることがあります。※

## 転倒防止について

### ⚠ 注意

- 本機は安定したところに据え付けてください。また、転倒防止の処置を行ってください。本機が転倒し、けがの原因となることがあります。

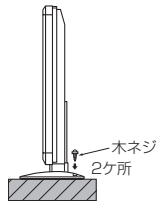
### 壁または柱などに固定する場合

- ①ひもまたはクサリ、および取付具については市販品をご利用いただき、確実に支持できる壁や柱などをお選びになり、しっかりと固定してください。



### 卓上などに固定する場合

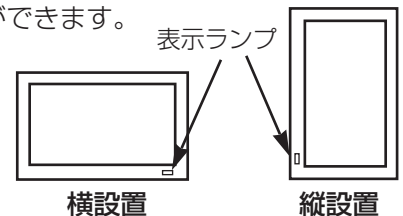
- ①図のようにスタンド後部の固定用ネジ穴に木ネジなどで固定し、ご利用ください。（左右2ヶ所）
- ②木ネジなどについては市販品をご利用いただき、しっかりと固定してください。



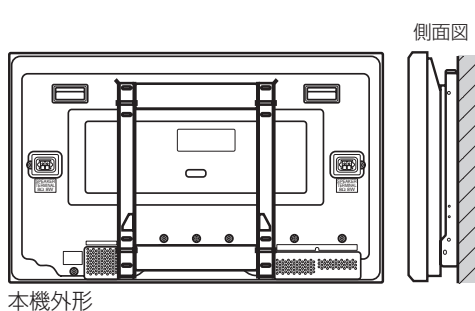
## 別売りの壁掛けユニット（CMPAK14）を使用する場合

壁掛けユニット（CMPAK14）を使用すると右図のように壁に取り付けることができます。

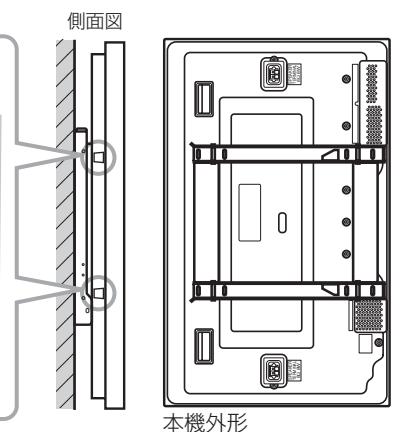
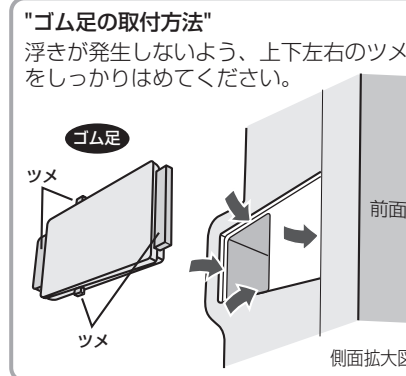
- ①壁面の強度やネジの保持強度が十分確保できるか確認してください。
- ②各種の壁に対応する市販のアンカー類、ネジ等を4組以上用意してください。
- ③壁掛けユニットに付属されている説明書をよくお読みのうえ、本機の壁面への適切な設置場所を決めてください。
- ④必要に応じ図に従って壁面にアンカー処理、下穴処理等を行ってください。



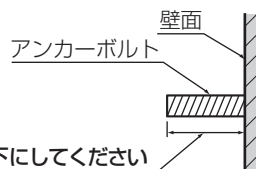
### ■横設置の場合



### ■縦設置の場合



壁面にアンカーボルトを打ち込む場合



25mm以下にしてください

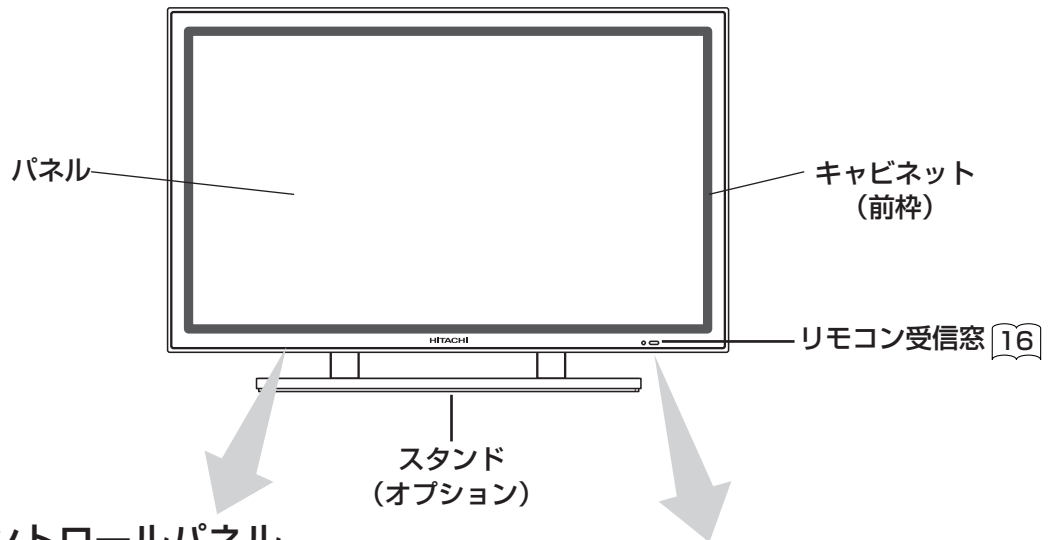
### ⚠ 注意

- 縦設置時は、表示ランプが下になるように取り付けてください。内部温度があがり故障や火災の原因となる可能性があります。

# 設置方法 (つづき)

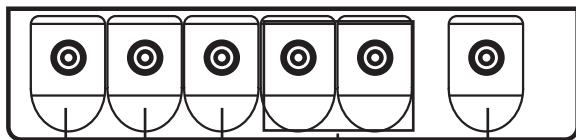
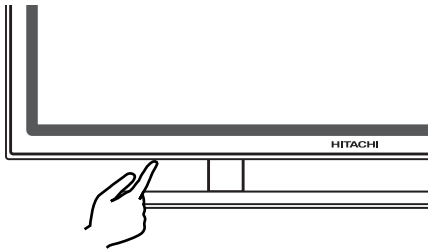
## 各部の名称

前 面



### コントロールパネル

- 底面奥に調節ボタンがあります。
- 裏カバーに調節ボタンの表示があります。

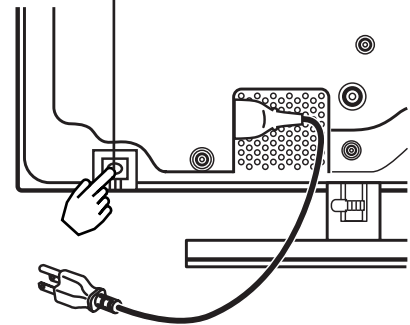


サブ電源ボタン 17  
VOLUMEボタン 18  
SELECTボタン 20  
MENUボタン 20  
INPUT SELECTボタン 18

表示ランプ 17

- 底面奥に主電源スイッチがあります。

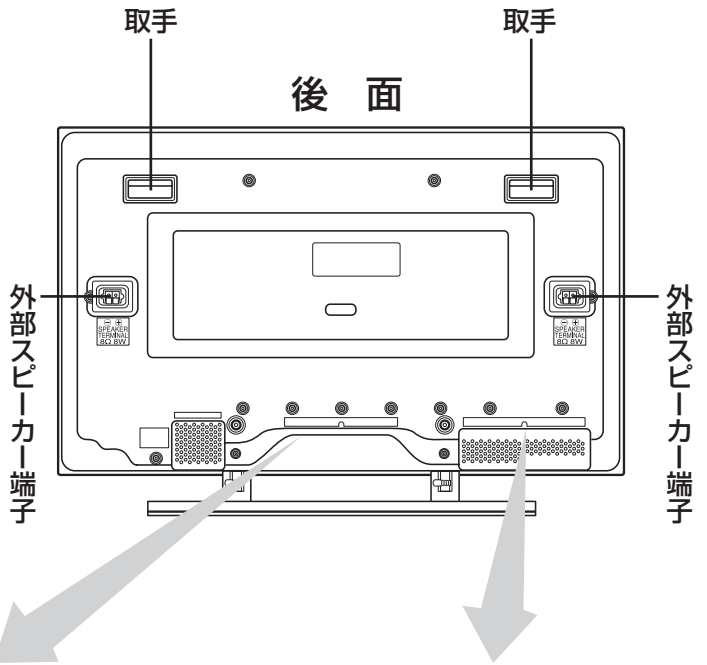
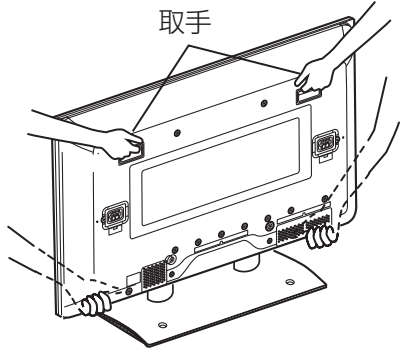
主電源スイッチ 17



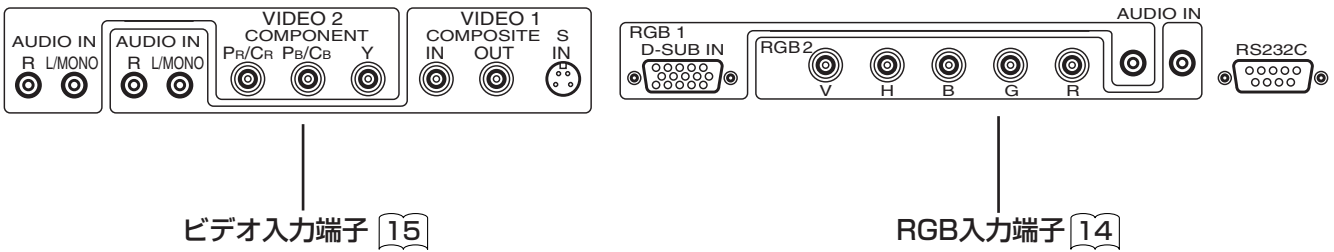
# 設置方法 (つづき)

## ⚠️ 注意 移動するとき

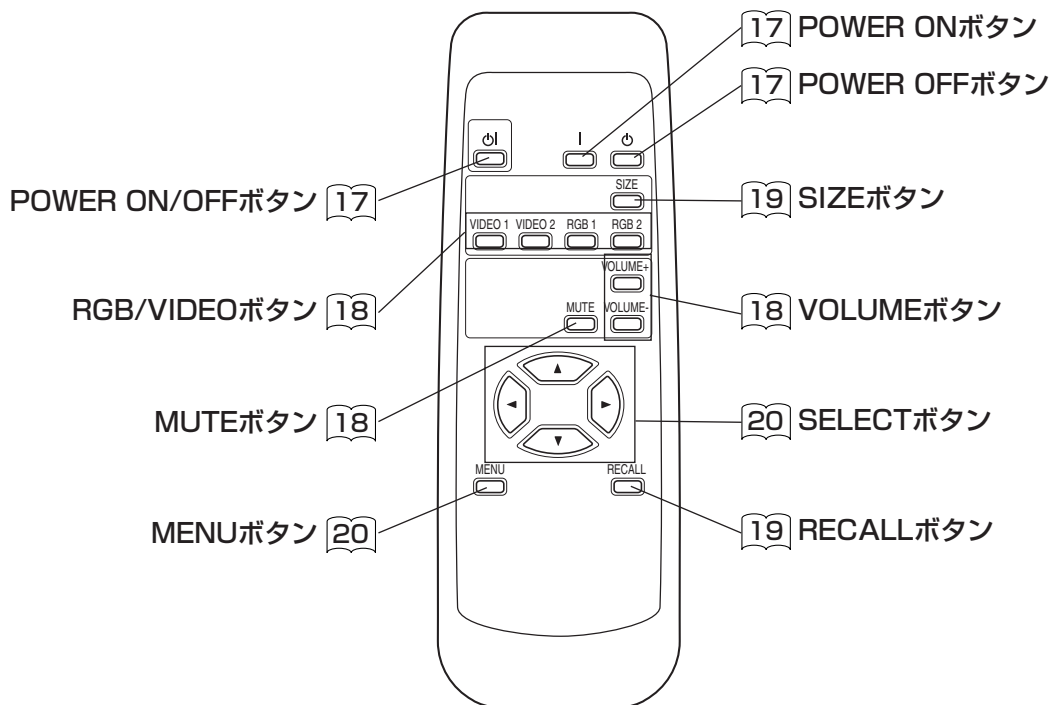
- この商品は重量物です。移動するときは、二人作業で持ち運びしてください。
- 持ち運びは、取手と前面側から製品下側の両端部を持って製品を保持してください。



## 外部機器接続端子



## リモコン



# 設置方法 (つづき)

## 据え付け・接続

### コンピューターとの接続方法

●「使用上のご注意」(5)～(10)をよくお読みになり、安全には十分ご注意の上、以下に従って作業を行ってください。

① ご使用になるコンピューターのディスプレイ信号が、本機の仕様に合うことを確認してください。

■本機の仕様については「製品仕様」33～35をご参照ください。

② 適切な設置場所を選び、安定となる場所に設置してください。

■使用するコンセント(AC100V電源)にすぐ手が届くように設置してください。

③ コンピューターの電源スイッチがOFFになっていることを確認してください。

④ 本機後面の信号入力端子(RGB1)と、コンピューターのディスプレイ信号出力端子を、付属の信号ケーブルで接続してください。

■RGB2の入力端子および音声入力端子に接続するときは、別売りの接続コードが必要です。

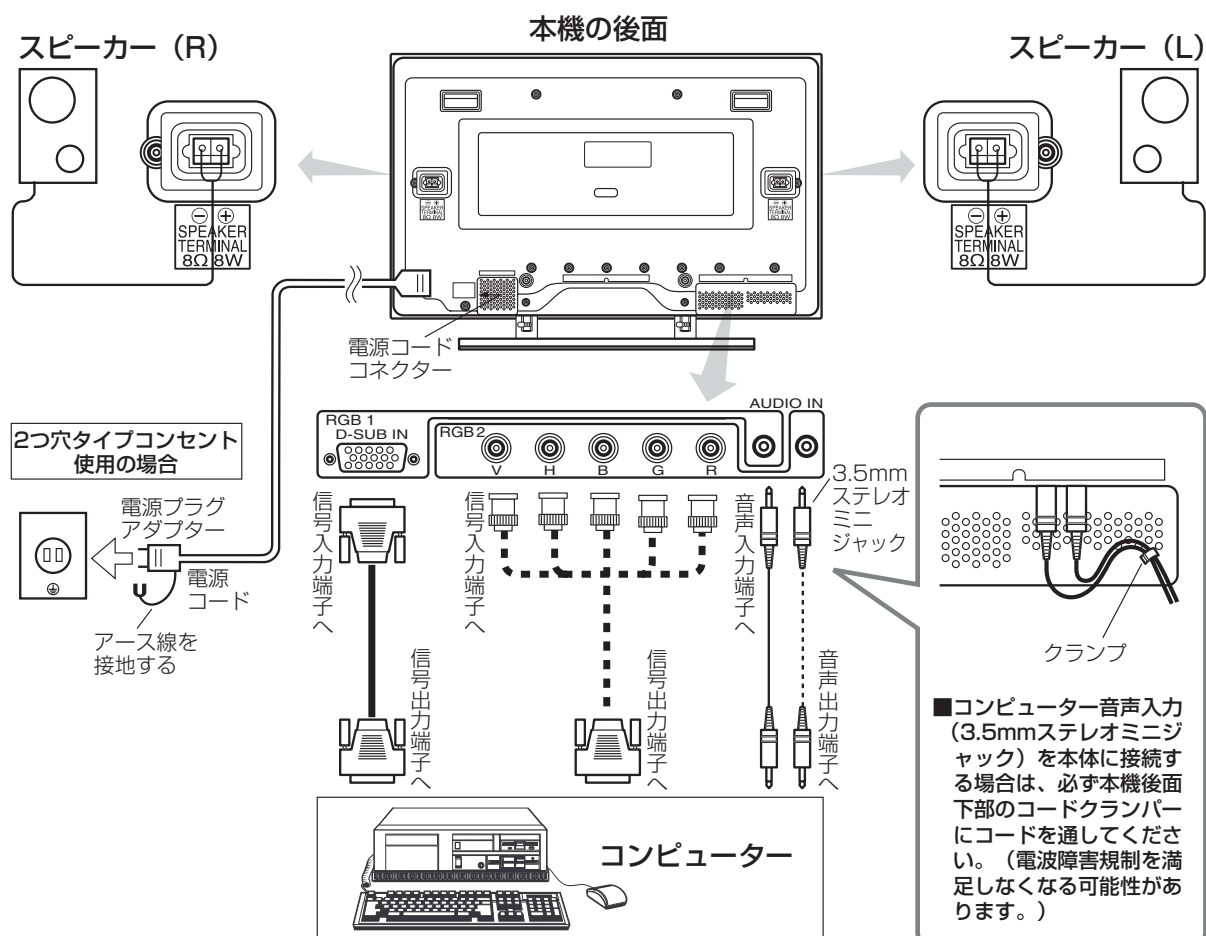
■付属の信号ケーブルが、ご使用のコンピューターと合わない場合は、33をご覧くださいの上、販売店へご相談ください。

⑤ 付属の電源コードのコネクター側を本機後面の電源コードコネクターに、プラグ側を電源電圧100Vのコンセントに接続してください。

■電源プラグアダプターをご使用の場合は、感電防止および電波障害防止のため、必ずアース線を接地してください。(アース接続は、必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続をはずす場合は、必ず電源プラグを電源から切り離して行ってください。)

⑥ まず本機の電源スイッチを、次にコンピューターの電源スイッチをONにして、本機の画面に表示が現れるのを確認してください。

■本機の電源ONおよび画像調節の方法は「操作方法」17～26をご覧ください。

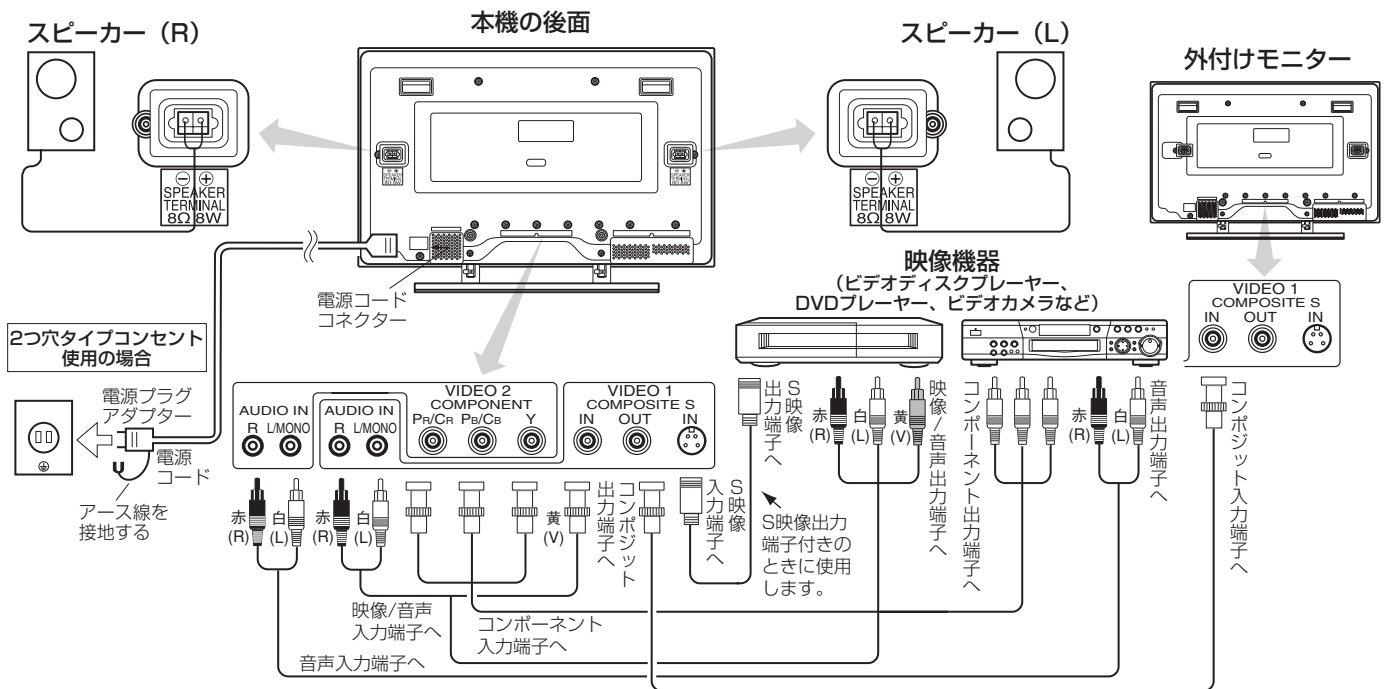


# 設置方法 (つづき)

## ビデオ映像機器との接続方法

(ビデオディスクプレーヤー、DVDプレーヤー、ビデオカメラなど)

- 「使用上のご注意」( [5] ~ [10] ) をよくお読みになり、安全には十分ご注意の上、以下に従って作業を行ってください。
  - ① 適切な設置場所を選び、安定となる場所に設置してください。
    - 使用するコンセント(AC100V電源)にすぐ手が届くように設置してください。
  - ② 本機の電源スイッチがOFFになっていることを確認してください。
  - ③ 映像機器の電源スイッチがOFFになっていることを確認してください。
  - ④ 本機後面の信号入力端子と、映像機器の信号出力端子を、市販のケーブル、コネクタ類で接続してください。
  - ⑤ 付属の電源コードのコネクター側を本機後面の電源コードコネクターに、プラグ側を電源電圧100Vのコンセントに接続してください。
    - 電源プラグアダプターをご使用の場合は、感電防止および電波障害防止のため、必ずアース線を接地してください。(アース接続は、必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続をはずす場合は、必ず電源プラグを電源から切り離して行ってください。)
  - ⑥ まず本機の電源スイッチを、次に映像機器の電源スイッチをONにして、本機の画面に表示が現れるのを確認してください。
    - 本機の電源ONおよび画像調節の方法は「操作方法」[17] ~ [26]をご覧ください。



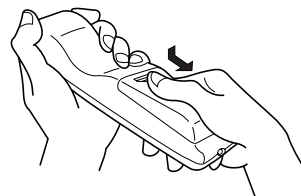
- S映像出力端子付きの映像機器をご使用の際は、S映像ケーブルにより接続されることをおすすめします。より良い画質で映像をお楽しみいただけます。  
(本機はS映像入力端子と映像入力端子が両方接続されている場合は、S映像入力が優先されます。)
- VIDEO1 OUT端子には、75Ω終端の外付けモニターを接続することにより、本機と同じ映像をお楽しみいただけます。外付けモニターをご使用にならない場合は、必ずVIDEO OUT端子からケーブルを外してください。映像が白っぽく飽和した状態になります。

# 設置方法 (つづき)

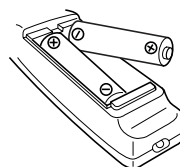
## リモコンの取り扱い

### 乾電池の入れかた

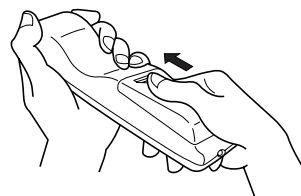
- ① 電池ぶたをはずしてください。  
■電池ぶたを押しながら、矢印の方向にずらします。



- ② 乾電池を入れてください。  
■付属の単3形乾電池を⊕、⊖の表示どおりに入れます。

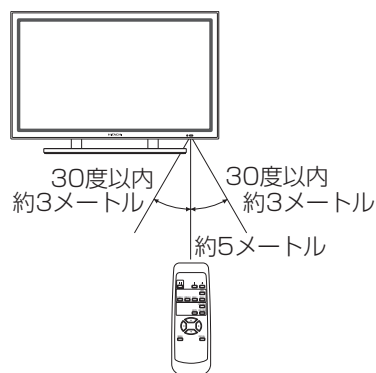


- ③ 電池ぶたを閉めてください。  
■電池ぶたを矢印の方向に押し戻します。



### リモコンの取り扱い

- リモコンは、モニター本体のリモコン受信窓の正面から約5メートル、左30度、右30度の範囲内でお使いください。



### ⚠ 注意






- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 電池を機器内に挿入する場合、極性表示プラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れてください。まちがえますと電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

### お守りください

- リモコンを落としたり、衝撃を与えないでください。
- リモコンに水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。故障の原因になります。
- 長時間ご使用にならない場合は、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。
- リモコンの操作がしにくくなったら、乾電池を交換してください。
- リモコン受信窓に直射日光などの強い光が当たると動作しなくなることがあります。光が直接当たらないようにモニター本体の向きを変えてください。

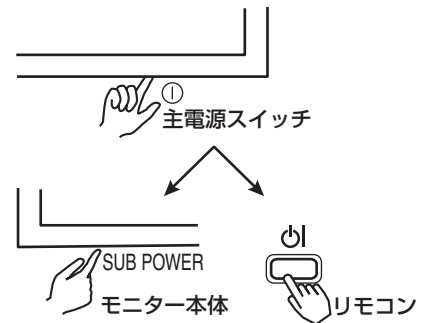
# 操作方法

## 電源ON/OFF

- モニター本体の電源をONにするには、モニター本体の主電源スイッチ(①)をONにしたあと、サブ電源ボタンかリモコンの  または  ボタンを押してください。
- モニター本体の電源をOFFにするには、モニター本体のサブ電源ボタンかリモコンの  または  ボタンを押したあとに、モニター本体の主電源スイッチ(①)をOFFにしてください。
- 通常のご使用時は、主電源スイッチ(①)をONにした状態で、サブ電源ボタンかリモコンの  ボタンでモニター本体の電源をON/OFFすることができます。

| 表示ランプ     | 電源の状態          | 操 作  |
|-----------|----------------|--|
| 無点灯       | OFF            | 主電源スイッチ(①)OFF時   |
| 赤点灯       | OFF<br>(スタンバイ) | 主電源スイッチ(①)ON、リモコンの  ボタンまたは前枠底面のコントロールパネルのサブ電源ボタンOFF時  |
| 緑点灯または緑点滅 | ON             | 主電源スイッチ(①)ON、リモコンの  ボタンまたは前枠底面のコントロールパネルのサブ電源ボタンON時 |

表示ランプが緑点滅したり画面に「POWER SAVE」、または「OUT OF FREQUENCY」のメッセージが表示された場合は、「故障とまちがえやすい現象」[30](#)をご参照ください。



### お守りください

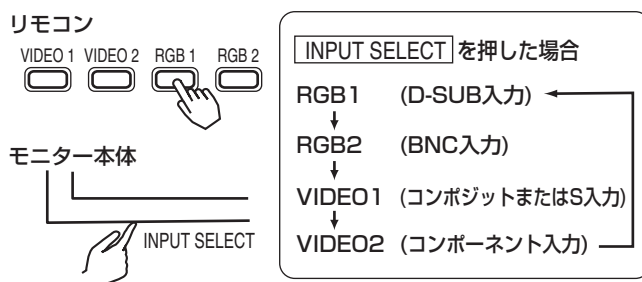
- 電源の頻繁なON/OFFのくり返しはおやめください。故障の原因となることがあります。
- 長時間ご使用にならないときは、主電源スイッチ(①)をOFFにしてください。
- 本機が動作中に停電になった場合、停電の回復とともに電源が入ります。モニター本体から離れるときは、モニター本体の主電源スイッチを切っておいてください。

# 操作方法 (つづき)




## 入力切換




- リモコンのRGB1、RGB2、VIDEO1またはVIDEO2のボタンを押すと、入力が切り換わります。モニター本体のINPUT SELECTボタンを押すと、RGB1→RGB2→VIDEO1→VIDEO2→RGB1の順に入力が切り換わります。

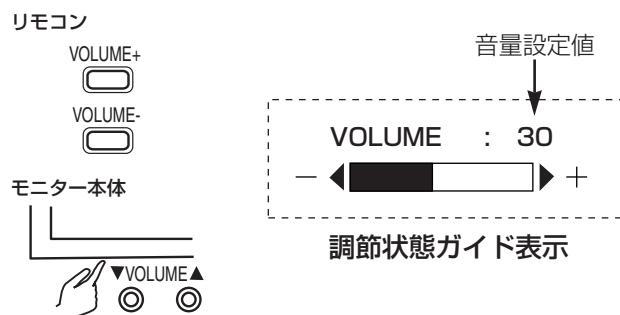
- RGB1及びRGB2に同一信号を入力された場合、PHASEが微妙にずれる場合がありますが故障ではありません。この場合は使用される入力側でPHASEの再調節を行ってください。



## 音量調節




- オン スクリーン ディスプレイ システム  を表示していない状態で、リモコンのVOLUME ボタンの 、 (またはモニター本体のVOLUMEボタン▲、▼ボタン)を押すと、音量を調節することができます。

- ボタンを押すと、調節状態をガイド表示します。
  - ガイド表示しているときに  (または▲)ボタンを押すと音量が大きくなります。
  - ガイド表示しているときに  (または▼)ボタンを押すと音量が小さくなります。
- オン スクリーン ディスプレイ システムで音量を調節することもできます。 
- 5秒間キー入力操作がないときは、音量調節モードを終了します。(調節状態ガイド表示が自動的に消えます。)



## 音声ミュート(消音)

- リモコンのMUTEボタンを押すと、音を一時的に消すことができます。

- ボタンを押すと、「MUTE」表示(ピンク色)と音量設定状態をガイド表示します。
  - 消音状態のときに  ボタンを押すと音量の設定を小さくすることができます。
  - 消音状態のときに  ボタンを押すと消音状態を解除します。
- オン スクリーン ディスプレイ システムで消音状態のときの音量設定を調節することもできます。 



- もう一度リモコンのMUTEボタンを押すと、消音状態が解除されVOLUME表示(水色)にかわり、音が出せます。

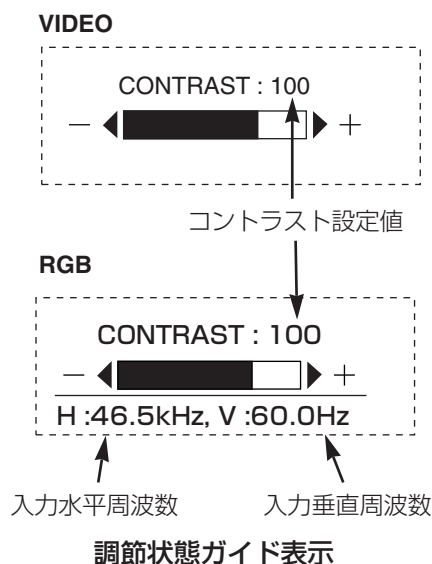
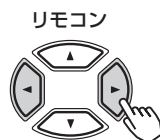
- MUTEのときは、ガイド表示が5秒間続き、その後消えます。

# 操作方法 (つづき)

## コントラスト調節

- オン スクリーン ディスプレイ システム [20] を表示していない状態で、リモコンのSELECTボタン (◀または▶キー) を押すと、コントラストを調節することができます。

- ボタンを押すと、コントラストの調節状態と入力信号の水平周波数(H)、垂直周波数(V)をガイド表示します。(RGB入力時のみ)
- ガイド表示しているときに◀キーを押すと明暗の差が小さくなります。
- ガイド表示しているときに▶キーを押すと明暗の差が大きくなります。
- オン スクリーン ディスプレイ システムでコントラストを調節することもできます。[21]
- 5秒間キー入力操作がないときは、コントラスト調節モードを終了します。(調節状態ガイド表示が自動的に消えます。)



## サイズ切り換え

- リモコンのSIZEボタンを押すたびに、画面の表示サイズ (または表示領域) が順次切り換わり、画面下部に状態を表示します。

- RGB信号入力時

NORMAL → FULL → ZOOM

- VIDEO信号入力時

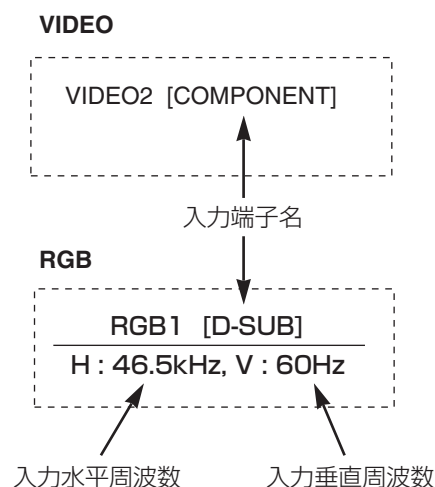
4:3 → PANORAM. → MOVIE1  
FULL ← MOVIE2 ←

- 信号の種類によってはサイズ切り換えができなかったり、一部の切り換えができない場合があります。[22] [24]



## 入力信号画面表示

- リモコンのRECALLボタンを押すと、入力信号状態を画面に表示することができます。
- もう一度リモコンのRECALLボタンを押すと、入力信号画面表示を終了します。
- 5秒間キー入力操作がないときは、入力信号画面表示を終了します。

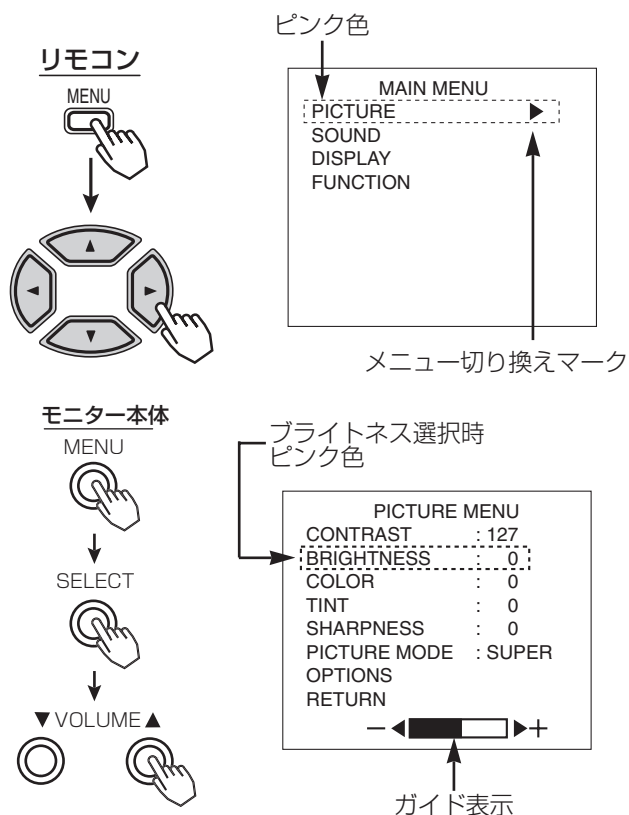


# 操作方法 (つづき)

## オン スクリーン ディスプレイ システム

- MENUボタンを押すと、調節用メニュー画面が表示され、SELECTボタン(リモコンは△、▽、◀、▶キー、モニター本体はSELECTキーおよびVOLUMEボタン▼、▲キー)を使って映像の調節や設定をすることができます。

- モニター本体のSELECTボタン(リモコンは△または▽キー)を押すと、文字のピンク色が移動して項目を選択することができます。
- モニターのVOLUMEボタン▲、▼キー(リモコンは◀または▶キー)を押すと、選択した項目の調節や設定、メニューの切り換えができます。
  - 選択項目の右側に「:」の表示があるときは、調節や設定を変更することができます。
  - 選択項目の右側に▶の表示があるときは、リモコンの場合はSELECTボタンの▶キー、モニター本体の場合はSELECTボタン、VOLUMEボタン▲キーを押すとメニューの切り換えができます。
  - 選択項目が「RETURN」のときに、リモコンの場合はSELECTボタンの◀キー、モニター本体の場合はSELECTボタン、VOLUMEボタン▼キーを押すと元のメニュー画面に戻ります。
- 項目の調節や設定内容については 21 ~ 26 をご覧ください。



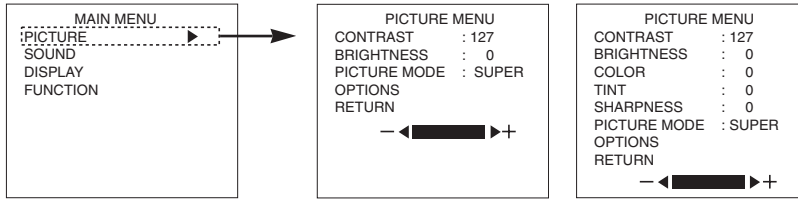
- もう一度MENUボタンを押すと、調節用メニュー画面の表示が解除されます。
  - 10秒間キー入力操作がないときは、自動的に調節用メニュー画面の表示が解除されます。

### お知らせ

- 同一画像を長時間連続して表示すると、残像（焼付き現象）を生じることがあります。これを軽減するため、表示内容を適当な間隔で切替えることをおすすめします。内蔵のスクリーンセーバー機能のご使用もおすすめします。26
- コンピューターなどで作成した特殊な画像(画面の大部分がチェックフラグのようなパターンなど)を表示した場合は、コントラストまたはブライトにより色相が変わることがあります。

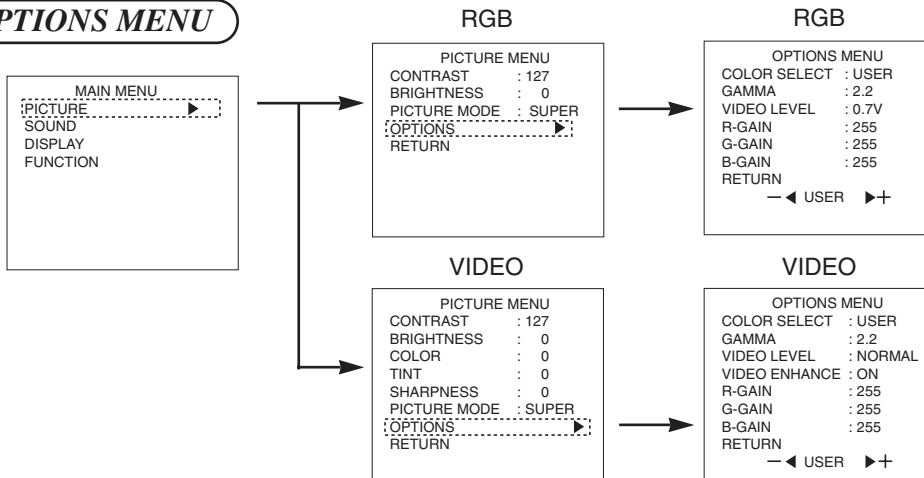
# 操作方法 (つづき)

## PICTURE MENU



| 調節項目                       |               |                 | 設定のポイント                     |
|----------------------------|---------------|-----------------|-----------------------------|
| CONTRAST<br>コントラスト (明暗の差)  | 明暗の差が小さくなる。   | 明暗の差が大きくなる。     | 周囲の明るさに合わせて見やすく。            |
| BRIGHTNESS<br>ブライトネス (明るさ) | 黒が沈み、全体が暗くなる。 | 黒が浮いて、全体が明るくなる。 | 黒側がつぶれないように。                |
| COLOR<br>カラー (色の濃さ)        | 色が薄くなる。       | 色が濃くなる。         | 好みの濃さに。やや薄めの方が自然です。         |
| TINT<br>ティント (色あい)         | 赤が強く、緑が弱くなる。  | 緑が強く、赤が弱くなる。    | 肌色がきれいに見えるように。              |
| SHARPNESS<br>シャープネス (画質)   | 画面がソフトになる。    | 画面がシャープになる。     | ふだんは中央で、柔らかい感じにしたいときには一側へ。  |
| PICTURE MODE<br>ピクチャーモード   | NORMALに設定     | SUPERに設定        | 通常はSUPERに設定。<br>白の輝度をUPします。 |

## OPTIONS MENU

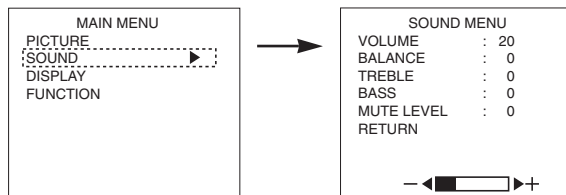


| 調節項目                      |                               |          | 設定のポイント  |
|---------------------------|-------------------------------|----------|--|
| COLOR SELECT<br>色温度       | COOL ↔ NORM ↔ WARM ↔ USER     |          | 通常は「COOL」にします。   |
| GAMMA<br>ガンマ補正            | 1.0 ↔ 2.2 ↔ 2.8               |          | 通常は「2.2」にします。  |
| VIDEO LEVEL<br>入力信号レベル    | VIDEO<br>NORMAL ↔ +10% ↔ +20% |          | 通常は「NORMAL」でご使用ください。<br>白つぶれが激しいときに「+10%」または「+20%」にします。                |
|                           | 0.7Vに設定。                      | 1.0Vに設定。 | 通常は「0.7V」でご使用ください。<br>白つぶれが激しいときに「1.0V」にします。                           |
| VIDEO ENHANCE<br>ビデオエンハンス | OFFに設定。                       | ONに設定。   | ONで縦線をくっきりさせます。<br>通常は「ON」にします。  |
| R-GAIN 赤ゲイン*              | 赤が弱くなる                        | 赤が強くなる   | COLOR SELECTでUSERを選択した場合の、色調を設定します。<br>ゲインを設定しようとするとき自動的にUSERモードになります。 |
| G-GAIN 緑ゲイン*              | 緑が弱くなる                        | 緑が強くなる   |  |
| B-GAIN 青ゲイン*              | 青が弱くなる                        | 青が強くなる   |  |

\*R,G,Bのいずれかが1個は、225以下に設定できません。

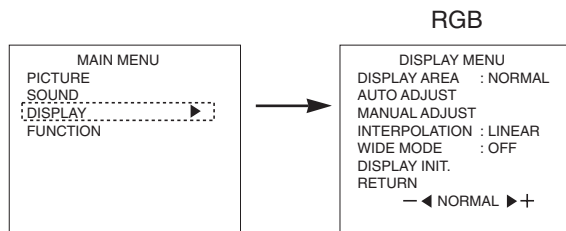
# 操作方法 (つづき)

## SOUND MENU



| 調節項目                 |                              |                                     | 設定のポイント                           |
|----------------------|------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|
| VOLUME<br>音量         | 音が小さくなる。                     | 音が大きくなる。                            | お好みの大きさにします。 <b>18</b>            |
| BALANCE<br>音声バランス    | 右側の音が抑えられる。                  | 左側の音が抑えられる。                         | お好みに合わせて調節します。                    |
| TREBLE<br>高音         | 高音が抑えられる。                    | 高音が強調される。                           |                                   |
| BASS<br>低音           | 低音が抑えられる。                    | 低音が強調される。                           |                                   |
| MUTE LEVEL<br>ミュート音量 | MUTEボタンを押したときの音量が小さくなる。最小は0。 | MUTEボタンを押したときの音量が大きくなる。最大は音量設定値の音量。 | MUTEボタンを押したときの音量を設定します。 <b>18</b> |

## DISPLAY MENU (RGB)



| 調節項目                  |  |  | 設定のポイント   |
|-----------------------|--|--|---|
| DISPLAY AREA<br>表示領域  | NORMAL ← FULL ↔ ZOOM<br>                           |  | 「FULL」は画像を画面一杯に合わせて出します。全体画像を把握するとき便利です。  |
| AUTO ADJUST *<br>自動調節 | ADJUST OK?   |  | CLOCK、PHASEの自動調節をします。   |
|                       | YESに設定。<br>自動調節を実行します。                             | NOに設定。<br>自動調節を実行しません。                   |   |
| INTERPOLATION<br>補間処理 | DOUBLEに設定。   | LINEARに設定。                               | 文字や画像をくっきりさせたいときに「DOUBLE」にします。滑らかにしたいときは「LINEAR」にします。                                     |
| WIDE MODE **          | OFFに設定   | ONに設定                                    | VGA(60Hz)およびWIDE VGA信号入力時のみ表示されます。WIDE VGA信号時はONで、VGA60Hz信号入力時はOFFで使用されますと自然な映像でご覧いただけます。 |
| DISPLAY INIT.<br>初期化  | INITIALIZE?  |  | ユーザ信号プリセットデータをクリアします。   |
|                       | YESに設定。<br>DISPLAY MENUの調節値を全クリアし、DISPLAY MENUに戻る。 | NOに設定。<br>DISPLAY MENUに戻る。<br>クリアは実行しない。 |   |

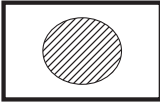
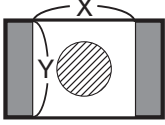
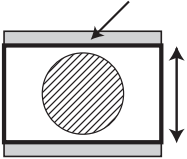
\* 信号によっては、自動調節で最適画面にならない場合があります。この場合は、MANUAL ADJUSTにより調節してください。 **23**

\* 1080/60i信号入力時は、AUTO ADJUST(自動調整)の表示は出ません。MANUAL ADJUSTより調節してください。 **23**

\*\* WIDE MODEをONに設定した場合、表示領域は「FULL」になり、切り換えはできません。

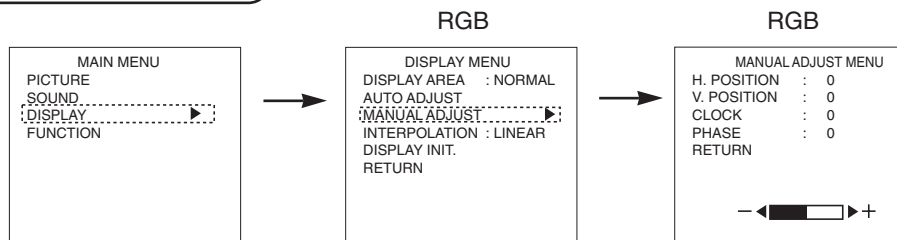
# 操作方法 (つづき)

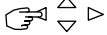











## DISPLAY AREA選択時の表示概略図 (RGB入力)

| 解像度                | 全体表示  | 真円表示   |   |
|--------------------|---|--|---|
| 表示                 | FULL  | NORMAL   | ZOOM  |
| 640 X 480 (VGA)    |  | <br>SXGA<br>X : Y = 5 : 4<br><br>その他の信号<br>X : Y = 4 : 3 | <br>情報領域<br><br>V position<br>でスクロー<br>ル可能 |
| 800 X 600 (SVGA)   |   |  |   |
| 1024 X 768 (XGA)   |   |  |   |
| 1280 X 1024 (SXGA) |   |  |   |
| 1600 X 1200 (UXGA) |   |  |   |

上記信号表示のため、圧縮 (間引き) ・拡大などの処理を行っています。

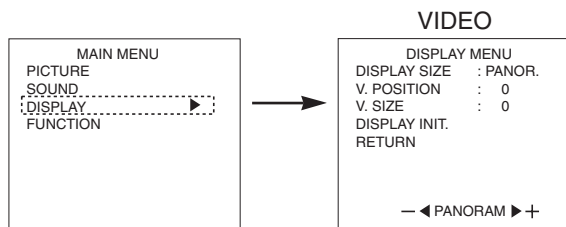
## MANUAL ADJUST MENU (RGB)



| 調節項目                |                               |                               | 設定のポイント   |
|---------------------|--|--|---|
| H.POSITION<br>水平位置  | 左へ移動する。<br>                   | 右へ移動する。<br>                   | 左側の表示位置を合わせます。  |
| V.POSITION<br>垂直位置  | 下へ移動する。<br>                   | 上へ移動する。<br>                   | 上下の表示位置を合わせます。  |
| CLOCK<br>ドットクロック周波数 | ドットクロック周波数が低くなる。(右端が縮む)<br>   | ドットクロック周波数が高くなる。(右端が伸びる。)<br> | 右側の表示位置を合わせます。<br>         |
| PHASE<br>ドットクロック位相  | ドットクロック位相を遅らせる。(左へ少しずれる。)<br> | ドットクロック位相を進める。(右へ少しずれる。)<br>  | 最も文字がくっきりと見えるように合わせます。<br> |

# 操作方法 (つづき)

## DISPLAY MENU (VIDEO)



| 調節項目  |  |  | 設定のポイント                          |
|---|--|--|----------------------------------|
| DISPLAY SIZE<br>表示サイズ                         | 4 : 3 ↔ PANORAM. ↔ MOVIE1<br>↑ FULL ↔ MOVIE2 ← |  | 画像ソフトのアスペクト(画面の横と縦の比)に合わせて選択します。 |
| V.POSITION<br>(PANORAM/MOVIE1/MOVIE2)<br>垂直位置 |  |  | 字幕などが欠けるときは垂直位置を調節してください。        |
| V.SIZE<br>(PANORAM/MOVIE1/MOVIE2)<br>垂直サイズ    |  |  | 上下の黒帯(ブランク)が見えなくなる程度に調節する。       |

- コンポジット/S信号(ビデオ1入力)およびコンポーネント(SD1 480i)信号は全表示サイズ切り換えが可能です。
- コンポーネント(HD1 480p)信号のときは「4 : 3」「MOVIE1」「FULL」の切り換えになります。
- コンポーネント(HD3:1035i, 1080i, 720p)信号のときは表示サイズの切り換えはできません。
- S1またはS2映像端子を有した、ビデオ機器からS端子接続した場合は、S1映像は「FULL」になり、S2映像は「MOVIE1」になります。

## DISPLAY SIZE選択時の表示概略 (VIDEO入力)

| こんなときは  | 表示サイズの設定           | 入力信号          | 表示画面 | 備考  |
|---|--------------------|---------------|------|---|
| 16 : 9の画面に4 : 3映像を忠実に出す。                          | 4 : 3              |               |      | 両サイドにブランクが生じます。   |
| 16 : 9の画面に4 : 3映像を、画面中央の縦横を等比率で拡大、両サイドはより拡大して出す。  | パンoram<br>PANORAM. | (4 : 3信号)<br> |      |   |
| 4 : 3映像の中の16 : 9のピスタサイズの映像を16 : 9画面で忠実に再生。        | 映画1<br>MOVIE1      |               |      | ・このときの4 : 3映像をレターボックス映像と言います。<br>・上下にブランクが多少残る場合があります。  |
| 4 : 3映像の中に21 : 9のシネマサイズの映像を16 : 9画面に垂直拡大して再生。     | 映画2<br>MOVIE2      |               |      | 上下にブランクが多少残る場合があります。                                    |
| 4 : 3映像に垂直サイズは標準で横圧縮(スクイーズ)※された映像を16 : 9画面で忠実に再生。 | フル<br>FULL         |               |      | ※アスペクト比(画面横 : 縦の比)16 : 9の画面を横方向に圧縮して4 : 3の画面に収めた映像信号です。 |

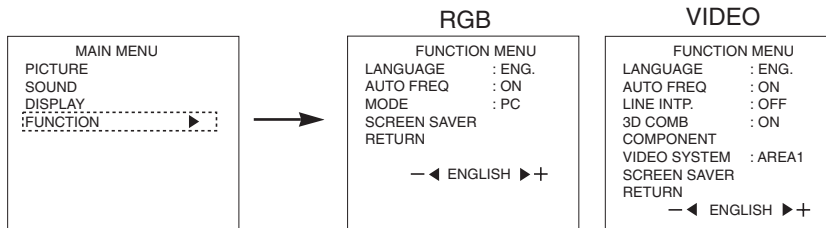
# 操作方法 (つづき)

## ご注意

### ワイド画面モニターに関するお知らせ

- このモニターは、各種の画面モード切り換え機能を備えています。テレビ番組などのソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見え方に差がでます。この点をご留意のうえ、表示サイズをお選びください。
- このモニターを営利目的、また公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、ワイド機能を使った拡大状態で使用されますと、著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意願います。
- ワイド画像でない通常の4：3の映像をパノラマサイズを利用して、画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり変形して見えます。製作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、4：3サイズでご覧ください。

## FUNCTION MENU



| 調節項目                                 |   |                                  | 設定のポイント   |
|--------------------------------------|---|----------------------------------|---|
| LANGUAGE<br>言語選択                     | ENG.(ENGLISH) ↔ D.(DEUTSCH) ↔ ITAL.(ITALIANO)<br>↳ ESP.(ESPAÑOL) ↳ FRA.(FRANÇAIS) ↳   |                                  | 出荷時はENG.(英)になっています。   |
| AUTO FREQ.<br>入力状態自動表示<br>(RGB入力時のみ) | OFFに設定。<br>新しい信号を受け付けたときに周波数表示なし。   | ONに設定。<br>新しい信号を受け付けたときに周波数表示する。 | 信号切り換えのときの周波数表示がわずらわしいときは「OFF」に設定します。   |
| MODE<br>モード<br>(RGB入力時のみ)            | PC ↔ MOVIE  |                                  | XGA 60Hz信号入力時に動画をご覧になる場合、MODE機能をMOVIEにすることにより、スムーズな動画をご覧いただけます。通常はPC(OFFモード)にします。動画をご覧になるときはMOVIE(ONモード)にしてください。  |
| LINE INT.<br>ライン補正                   | OFFに設定。   | ONに設定。                           | 立体ビデオディスクをご使用の場合は「ON」にします。通常は「OFF」でご使用ください。   |
| 3D COMB<br>3次元Y/C分離                  | OFFに設定。   | ONに設定。                           | ビデオなどの映像が不自然に見えるとき「OFF」にします。通常は「ON」でご使用ください。  |
| VIDEO SYSTEM<br>カラーシステムの設定           | N-PAL ↔ AREA1<br>↓ ↓<br>M-PAL    AREA2<br>↓ ↓<br>4-NTSC    NTSC<br>↓ ↓<br>SECAM ↔ PAL |                                  | ビデオ入力モードVIDEO1のときに入力させるシステムに合わせて、カラーシステムを切り換えます。<br>● 普段はAREA1でご使用ください。入力信号の方式を自動判別し画面表示します。<br>● 入力信号にノイズが多いかレベルが低いためAREA1,2で動作が安定しないときは、入力するカラーシステムに合わせてください。 |



# その他の機能

## 自動ストア

●調節した状態は調節終了後、約1秒で下表に従って自動的に登録されます。

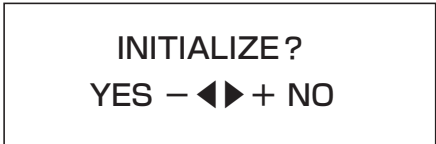
| 項目  | 表示  | 登録条件  | 再現条件            |
|---|---|---|-----------------|
| 音量<br>音声バランス<br>高音<br>低音<br>ミュート音量<br>入力状態自動表示<br>ライン補間<br>3次元Y/C分離<br>HD信号<br>言語選択 | VOLUME<br>BALANCE<br>TREBLE<br>BASS<br>MUTE LEVEL<br>AUTO FREQ.<br>LINE INTP.<br>3D COMB<br>COMPONENT<br>LANGUAGE | 1組登録できます。   | 正常信号受信時         |
| コントラスト(明暗の差)<br>ブライトネス(明るさ)<br>色温度<br>ガンマ補正<br>入力信号レベル                              | CONTRAST<br>BRIGHTNESS<br>COLOR SELECT<br>GAMMA<br>VIDEO LEVEL  | RGB1、RGB2入力時共通で1組とVIDEO1、VIDEO2入力時共通で1組の2組登録できます。 | 正常信号受信時         |
| カラー(色の濃さ)<br>ティント(色あい)<br>シャープネス(画質)<br>ビデオエンハンス                                    | COLOR<br>TINT<br>SHARPNESS<br>VIDEO ENHANCE   | VIDEO1、VIDEO2入力時共通で1組登録できます。                      | 正常信号受信時         |
| 表示領域<br>表示サイズ<br>水平位置<br>垂直位置<br>ドットクロック周波数<br>ドットクロック位相<br>垂直サイズ                   | DISPLAY AREA<br>DISPLAY SIZE<br>H.POSITION<br>V.POSITION<br>CLOCK<br>PHASE<br>V.SIZE                              | 信号モード毎に1組登録できません。                                 | 登録時と同じ信号モードを検出時 |

- 前回の登録内容は失われます。
- 信号モードは、水平/垂直同期周波数と同期信号極性によって判別されます。これらの全ての要素が同じか類似している場合は、異なる信号であっても、同一の信号として扱われることがあります。
- RGB1入力とRGB2入力は、信号モード毎に登録できる内容を共用していますが、調節内容がずれることがあります。

# その他の機能（つづき）

## リセット（登録内容の初期化）

- オン スクリーン ディスプレイ システム [20] より、SELECTボタンで「DISPLAY」を選択し、更に「DISPLAY INIT.」を選択すると、右図のMenuが表示されます。このときにSELECTボタンの◀キーを押す（YESを選択）と、現在受信している信号の下記表のユーザー調節値を消去して、工場出荷時の標準設定に戻すことができます。



- [▷] キーを押す（NOを選択）と、消去しないでDISPLAYメニューに戻ります。

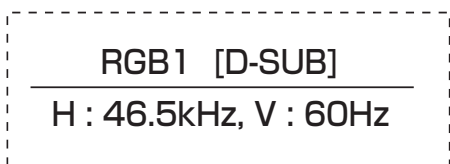
| DISPLAYメニュー項目 | 表示         | 対象                      |
|---------------|------------|-------------------------|
| 水平位置          | H.POSITION | RGB1,RGB2               |
| 垂直位置          | V.POSITION | RGB1,RGB2,VIDEO1,VIDEO2 |
| ドットクロック周波数    | CLOCK      | RGB1,RGB2               |
| ドットクロック位相     | PHASE      | RGB1,RGB2               |
| 垂直サイズ         | V.SIZE     | VIDEO1,VIDEO2           |

## 信号チェック

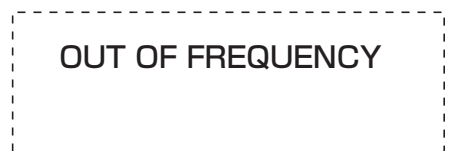
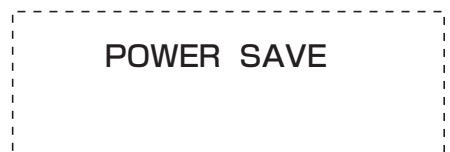
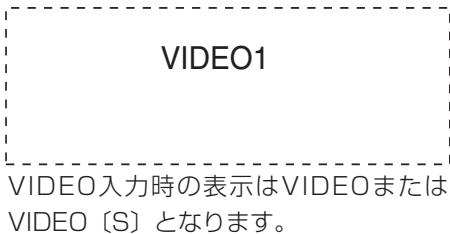
- 入力信号状態が変わると、その状態を画面表示します。

| 状態  | 表示   | 対処   |
|---|--|--|
| AUTO FREQをONに設定し、入力信号を切替えたとき、またはRECALLボタンを押したとき | ・入力端子と水平と垂直の周波数をガイド表示します。  | —  |
| 同期信号が検出できなかったとき                                 | ・「POWER SAVE」とガイドを表示します(約5秒間)。<br>・同期信号が検出できない状態が継続すると電源の表示ランプが点滅し、パワーセーブ・モードに移行します。 | ・コンピューターの電源スイッチやコンピューターの接続状態をもう一度確認してください。 |
| 入力信号がモニター本体の仕様に合わないか、不安定な状態であるとき                | ・「OUT OF FREQUENCY」とガイド表示します。  | ・入力信号の仕様をもう一度確認してください。<br>[33] ~ [35]      |

RGB



VIDEO



# その他の機能（つづき）

## パワーセービングシステム

### ■RGB入力選択時

- 本機は国際エネルギープログラムのパワーセービング要求に対応しています。本機をDPMS対応のコンピューターに接続して使用すると、コンピューター未使用時にはパワーセーブ(オフ)モードが自動的に設定されて、本機の消費電力を節減することができます。

|         |              |             |   |   |   |
|---------|--------------|-------------|---|---|---|
| RGB同期信号 | 水平           | 有           | 無 | 有 | 無 |
|         | 垂直           | 有           | 有 | 無 | 無 |
| 映像信号    | アクティブ (通常表示) | ブランク (映像無し) |   |   |   |
| 動作モード   | オン           | オフ          |   |   |   |
| 表示ランプ   | 緑色点灯         | 緑色点滅        |   |   |   |
| 消費電力    | 380W(標準)     | 5W以下        |   |   |   |

### ■ビデオ入力選択時

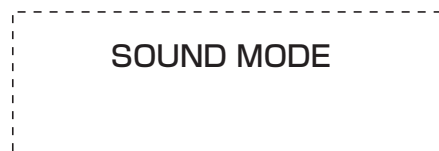
- ビデオ入力信号が無いときは、パワーセービングシステムが働き、本機の消費電力を節減することができます。

|       |              |             |
|-------|--------------|-------------|
| ビデオ信号 | 有            | 無           |
| 動作モード | オン           | オフ          |
| 画面の表示 | アクティブ (通常表示) | ブランク (映像無し) |
| 表示ランプ | 緑色点灯         | 緑色点滅        |
| 消費電力  | 380W(標準)     | 5W以下        |

## 音声専用モード

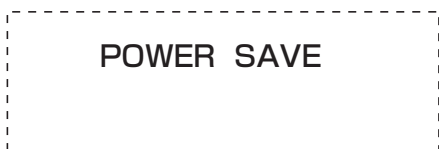
- パワーセーブ時にMENUボタンを押すと、パワーセーブを解除して音声のみを出力することができます。

- 音声専用モードに移行すると画面に表示します。
- 音声専用モードでは、音量調節をすることができます。



- 再びMENUボタンを押すと音声専用モードを解除します。

- このモードを解除すると、パワーセーブ機能が働きます。
- 映像信号が入力されると、自動的に音声専用モードを解除して、入力された信号を表示します。



# 故障かな…と思ったら



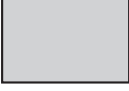


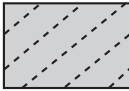



## 故障とまちがえやすい現象

- 症状に応じて以下の確認を行ってください。症状が改善されない場合はお買い上げの販売店へご連絡ください。



### 警告

■ お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

| 症状  | 確認内容   | 参考頁  |
|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●画面表示があらわれず、電源スイッチの表示ランプが消えている場合。</li> </ul>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>→電源コードの接続状態を確認してください。</li> <li>→電源スイッチを押してみてください。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>14</li> <li>15</li> <li>17</li> </ul>   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●「POWER SAVE」のメッセージが表示された場合。</li> <li>●画面表示があらわれず、電源スイッチの緑色の表示ランプが点滅している場合。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>同期信号が検出できません。</li> <li>→信号ケーブルの接続状態を確認してください。</li> <li>→コンピューター、映像機器などのスイッチがONになっていることを確認してください。</li> <li>→コンピューターがパワーセーブモードになっていないか確認してください。</li> <li>→入力切替が接続端子と一致していることを確認してください。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>14</li> <li>15</li> <li>17</li> <li>18</li> <li>29</li> <li>33</li> <li>34</li> </ul> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●「OUT OF FREQUENCY」のメッセージが表示された場合。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>入力信号が正常受信できません。</li> <li>→入力信号がモニター本体の仕様に合っていることを確認してください。</li> <li>→信号ケーブルの接続状態を確認してください。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>14</li> <li>15</li> <li>28</li> </ul>   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●電源スイッチの表示ランプが正常に点灯しているのに、画面表示があらわれない場合。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>→コントラスト、ブライツの調節状態を確認してください。(＋調節してみる。)</li> <li>→信号ケーブルの接続状態を確認してください。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>14</li> <li>15</li> <li>19</li> <li>21</li> </ul>                                     |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●画面がななめに流れる場合。</li> <li>●画面全体に文字列を表示すると、縦縞がはいるり、画面縦列の文字がにじんで表示される場合。</li> </ul>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>→ドットクロック周波数とドットクロック位相を調節してください。(ドットクロック周波数を調節後、ドットクロック位相を調節してください。)</li> <li>(RGB入力時)</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>22</li> <li>23</li> <li>32</li> </ul>   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●画面全体に文字列を表示すると、画面全体の文字がにじんで表示される場合。</li> <li>●細かい模様を表示させたときに画面がちらつく場合。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>→ドットクロック位相を調節して、最もくっきり見えるようにしてください。</li> <li>(RGB入力時)</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>22</li> <li>23</li> <li>32</li> </ul>   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●リモコンで操作できない場合。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>→リモコンの乾電池のが逆に入っていないか確認してください。</li> <li>→リモコンの乾電池の寿命がなくなっていないか確認してください。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>16</li> </ul>   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●VTRの特殊再生(早送り、早戻し)時に画面が暗くなり、映像が見えなくなる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>→480iなどのコンポーネント出力のVTR接続した場合に発生する場合があります。</li> <li>故障ではありませんので、あらかじめご了承願います。</li> <li>発生した場合は、コンポジット出力または、S1(またはS2)出力に変更してご使用下さい。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>—</li> </ul>  |

# 故障かな…と思ったら（つづき）

| 症状   | 確認内容  | 参考頁 |
|--|---|-----|
| ●フリッカにより横線が上下に振動している。<br>（コンピューター信号入力時）              | →コンピューターの垂直周波数が85Hz未満の場合は、周波数を高くしてみてください(上限85Hz)。現象が軽減される場合があります。                                       | —   |
| ●表示パネルの表面温度が高い。                                      | →プラズマディスプレイパネルは、内部で放電を起こすことにより、蛍光体を発光させています。<br>そのため、パネル表面温度が高くなる場合がありますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。     | —   |
| ●画面上に周囲と異なる点（※）がある。<br>※：光らない点、周囲より明るい点、周囲と色が異なる点など。 | →プラズマディスプレイパネルは、精密度の高い技術で作られています。画面の一部に欠点や輝点が存在する場合があります。<br>これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。               | —   |
| ●画面の内容により、縦状のノイズが出る。                                 | →プラズマディスプレイパネルは、放電によって蛍光体を発光させるため、画面の内容によっては、誤点灯のためまれに縦状のノイズが出る場合があります。<br>これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。 | —   |
| ●FULL表示画面で粗い横筋が見える。<br>（コンピューター信号入力時）                | →目の錯覚により見える場合があります。<br>PHASE調節により横筋を軽減することができます。  | 23  |
| ●ファンモーター音が大きい。                                       | →本機は温度コントロールされたファンモーターを使用し、本体内部の温度を下げています。<br>周囲温度が高くなると回転数が大きくなりモーター音が大きくなりますが、故障ではありません。              | —   |
| ●モニターの上部が熱い。   | →本機のモニターは、長時間使用した時などに、モニター上部が熱くなる場合がありますが、故障ではありません。  | —   |
| ●文字等の太さが不均一に表示される。                                   | →垂直解像度512ラインを超える画像を表示すると、文字や罫線等の太さが不均一になる場合がありますが、故障ではありません。  | —   |

# 故障かな…と思ったら（つづき）

## 正常に表示しない場合の対処方法

●使用するシステム装置によって、表示画面が適正でない場合があります。このような時は必ず以下の調節を行ってください。

|      |  |   |
|------|--|---|
| 症状1  | 画面全体に文字を表示すると縦縮がはいる、一部の文字がにじんで表示される（画面1）   |   |
| 例    |  | <p>調節後1<br/>全文字がはっきり見える</p> <p>調節後2<br/>全文字がにじんで見える</p> |
| 調節方法 | <p>1) MENUボタンを押してください。MAIN MENUが表示されます。</p> <p>2) SELECTボタンの▽キーを押して、DISPLAYを選択します。</p> <p>3) ▷キーを押してください。DISPLAY MENUが表示されます。</p> <p>4) ▽キーを押して、AUTO ADJUSTを選択します。</p> <p>5) ▷キーを押してください。(ADJUST OK)</p> <p>6) ◀キーを押して、YESを選択します。</p> <p>(調節は、文字などの細かいパターンか、縦縮パターンを画面全体に表示して行ってください。)</p> <p>AUTO ADJUSTで調節できないときは</p> <p>7) MENUボタンを押してください。MAIN MENUが表示されます。</p> <p>8) SELECTボタンの▽キーを押して、DISPLAYを選択します。</p> <p>9) ▷キーを押してください。DISPLAY MENUが表示されます。</p> <p>10) ▽キーを押して、MANUAL ADJUSTを選択します。</p> <p>11) ▷キーを押してください。MANUAL ADJUST MENUが表示されます。</p> <p>12) ▽キーを押して、CLOCKを選択します。</p> <p>(CLOCKの調節は、文字などの細かいパターンか、縦縮パターンを画面全体に表示して行ってください。)</p> <p>13) ▷または◀キーを押して、文字が画面全体で均等に見えるところを探してください。</p> <p>14) 画面全体で文字がにじんで見える場合は、症状2の調節を行ってください。</p> |   |

症状2の調節を行ってください。

■ CLOCK調節中に画面が一瞬乱れることがあります。故障ではありません。

|      |  |  |
|------|--|--|
| 症状2  | 画面全体に文字を表示すると画面全部の文字がにじんで表示される（画面2）<br>細かい模様を表示させた時に画面がちらちらする（画面3）   |  |
| 例    |  |  |
| 調節方法 | <p>1) MENUボタンを押してください。MAIN MENUが表示されます。</p> <p>2) SELECTボタンの▽キーを押して、DISPLAYを選択します。</p> <p>3) ▷キーを押してください。DISPLAY MENUが表示されます。</p> <p>4) ▽キーを押して、AUTO ADJUSTを選択します。</p> <p>5) ▷キーを押してください。(ADJUST OK)</p> <p>6) ◀キーを押して、YESを選択します。</p> <p>(調節は、文字などの細かいパターンか、縦縮パターンを画面全体に表示して行ってください。)</p> <p>AUTO ADJUSTで調節できないときは</p> <p>7) MENUボタンを押してください。MAIN MENUが表示されます。</p> <p>8) SELECTボタンの▽キーを押して、DISPLAYを選択します。</p> <p>9) ▷キーを押してください。DISPLAY MENUが表示されます。</p> <p>10) ▽キーを押して、MANUAL ADJUSTを選択します。</p> <p>11) ▷キーを押してください。MANUAL ADJUST MENUが表示されます。</p> <p>12) ▽キーを押して、PHASEを選択します。</p> <p>(PHASEの調節は、文字などの細かいパターンか、縦縮パターンを画面全体に表示して行ってください。)</p> |  |
|      | <p>13) ▷または◀キーを押して、文字が画面全体できれいなところを探してください。</p>  | <p>13) ▷または◀キーを押して、画面がちらつかないところを探してください。</p> |

# 製品仕様

■ 本仕様およびデザインは、予告なく変更することがあります。

## 一般仕様

|        |   |   |
|--------|---|---|
| 形名     | CMP4121HDJ  |   |
| パネル    | 表示寸法  | 約42インチ (水平922mm, 垂直522mm, 対角1,059mm)  |
|        | 表示ドット数  | 水平1024×垂直1024   |
| 入力信号   | 入力端子  | RGB入力   |
|        |   | VIDEO入力   |
|        | 映像信号  | RGB 1系統2入力端子(D-SUB15ピン)(BNC)<br>RGB音声2系統2入力端子(右)(左)(3.5mmステレオミニジャック)  |
|        | 同期信号  | ビデオ1映像入力端子 (BNC)<br>ビデオ1音声入力端子 (右) (左) (RCA)<br>ビデオ1S映像入力端子 (S)<br>ビデオ2映像入力端子 (Y) (PB/CB) (PR/CR) (BNC)<br>ビデオ2音声入力端子 (右) (左) (RCA) |
| 映像出力信号 | 0.7V/1.0Vp、アナログRGB<br>(水平: 24kHz~107kHz、垂直: 50Hz~85Hz)<br>1080/60i, 1080/50i  | ビデオ1入力 NTSC, NTSC-4.43, M-PAL, PAL, N-PAL, SECAM<br>ビデオ2入力 480/60i, 480/60p, 720/60p, 575/60i, 1080/60i, 1035/60i (ハイビジョン)          |
| 同期信号   | H/Vセパレート, TTLレベル [2KΩ]<br>H/Vコンポジット, TTLレベル [2KΩ]<br>シンクオングリーン, 0.3Vp-p [75Ω] | —<br>—<br>—   |
| 推奨信号   | 27モード <b>34</b>   | 12モード <b>35</b>   |
| 音声出力端子 | 8W+8W (8Ω)  |   |
| 電源     | AC100V, 50Hz/60Hz 消費電力380W  |   |
| 外形寸法   | 幅1,030×高さ636×奥行89(mm) (スタンドなど含まず)   |   |
| 質量     | 31kg (スタンドを含まず) 35kg (オプションスタンド装着時)   |   |
| 環境条件   | 温度  | 使用時: 5℃~35℃ 保存時: 0℃~40℃   |
|        | 湿度  | 使用時: 20%~80% 保存時: 20%~90% (結露なきこと)  |

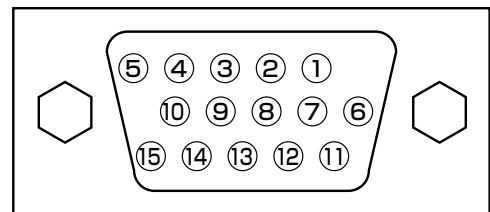
■ 最適画質状態になるまでの所要時間は30分以上です。

## 信号入力

### ● RGB端子 (D-SUB15ピンコネクター)

| ピンNo. | 入力信号                         |
|-------|------------------------------|
| 1     | R.video                      |
| 2     | G.videoまたはSYNC.on Green      |
| 3     | B.video                      |
| 4     | NC                           |
| 5     | NC                           |
| 6     | R.GND                        |
| 7     | G.GND                        |
| 8     | B.GND                        |
| 9     | NC                           |
| 10    | GND                          |
| 11    | NC                           |
| 12    | [SDA]                        |
| 13    | H.sync.またはH/V composite sync |
| 14    | V.sync. [V.CLK]              |
| 15    | [SCL]                        |

NC:No Connection (未接続)



●グラフィックボードなどによって複数種の同期信号が入力された場合、本機では下表の優先順位で信号を自動選択します。

| 同期信号の種類             | 優先順位 |
|---------------------|------|
| H/V separate sync.  | 1    |
| H/V composite sync. | 2    |
| sync.on Green*      | 3    |

\*次頁に示す推奨信号であっても正しく表示できないことがあります。その場合は、H/V Separate sync, H/V composite syncでご使用ください。

### ●RGB端子 (BNCコネクター)



V.sync.



H.sync. または  
H/V composite sync



B.video



G.video または  
SYNC.on Green



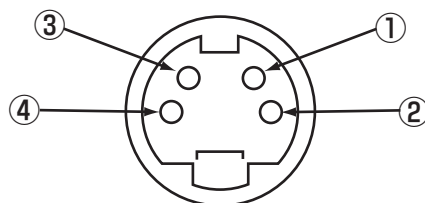
R.video

# 製品仕様 (つづき)

## 信号入力(つづき)

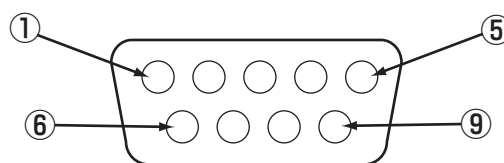
### ●S-INPUTコネクターピン仕様

| ピン   | 信号名   |
|------|-------|
| 1    | Y     |
| 2    | Y-GND |
| 3    | C     |
| 4    | C-GND |
| フレーム | GND   |



### ●SERIALコネクターピン仕様

| ピン | 信号名 | 備考               |
|----|-----|------------------|
| 1  | NC  |                  |
| 2  | RXD | モニター本体←PC        |
| 3  | TXD | モニター本体→PC        |
| 4  | NC  |                  |
| 5  | GND | モニター本体GND↔PC GND |
| 6  | NC  |                  |
| 7  | NC  |                  |
| 8  | NC  |                  |
| 9  | NC  |                  |



NC:No Connection (未接続)

## 推奨信号一覧

●本機では、以下を推奨します。

### RGB入力時 (RGB1またはRGB2入力)

| No. | 信号モード       |             |           | 水平周波数<br>(kHz) | ドットクロック<br>周波数(MHz) | 備 考           |
|-----|-------------|-------------|-----------|----------------|---------------------|---------------|
|     | 信号名         | 解像度         | 垂直周波数(Hz) |                |                     |               |
| 1   | VGA         | 640 X 400   | 70.08     | 31.47          | 25.18               |               |
| 2   |             | 640 X 480   | 59.94     | 31.47          | 25.18               |               |
| 3   | W-VGA       | 864 X 480   | 59.94     | 31.47          | 34.24               |               |
| 4   | VESA        | 640 X 480   | 72.81     | 37.86          | 31.50               |               |
| 5   |             | 640 X 480   | 75.00     | 37.50          | 31.50               |               |
| 6   |             | 640 X 480   | 85.01     | 43.27          | 36.00               |               |
| 7   |             | 800 X 600   | 60.32     | 37.88          | 40.00               |               |
| 8   |             | 800 X 600   | 72.19     | 48.08          | 50.00               |               |
| 9   |             | 800 X 600   | 75.00     | 46.88          | 49.50               |               |
| 10  |             | 800 X 600   | 85.06     | 53.67          | 56.25               |               |
| 11  |             | 1024 X 768  | 60.00     | 48.36          | 65.00               |               |
| 12  |             | 1024 X 768  | 70.07     | 56.48          | 75.00               |               |
| 13  |             | 1024 X 768  | 75.03     | 60.02          | 78.75               |               |
| 14  |             | 1024 X 768  | 85.00     | 68.68          | 94.50               |               |
| 15  |             | 1152 X 864  | 75.00     | 67.50          | 108.00              |               |
| 16  |             | 1280 X 1024 | 60.02     | 63.98          | 108.00              |               |
| 17  |             | 1280 X 1024 | 75.03     | 79.98          | 135.00              |               |
| 18  |             | 1280 X 1024 | 85.02     | 91.15          | 157.50              |               |
| 19  | 1600 X 1200 | 60.00       | 75.00     | 162.00         |                     |               |
| 20  | 1600 X 1200 | 75.00       | 93.75     | 202.50         |                     |               |
| 21  | 1600 X 1200 | 85.00       | 106.25    | 229.50         |                     |               |
| 22  | Macintosh   | 640 X 480   | 66.67     | 35.00          | 30.24               |               |
| 23  |             | 832 X 624   | 74.55     | 49.72          | 57.28               |               |
| 24  |             | 1024 X 768  | 75.11     | 60.24          | 80.00               |               |
| 25  |             | 1152 X 870  | 75.06     | 68.68          | 100.00              |               |
| 26  | 1080 / 60i  | 1080i       | 60.00     | 33.75          | 74.25               | H/Vセパレート同期時のみ |
| 27  | 1080 / 50i  | 1080i       | 50.00     | 28.13          | 74.25               |               |

# 製品仕様 (つづき)

## 推奨信号一覧 (つづき)

### コンポジット/S入力時 (ビデオ1入力)

| No. | 信号モード                      |     |           | 水平周波数<br>(kHz) | ドットクロック<br>周波数(MHz) | 備 考 |
|-----|----------------------------|-----|-----------|----------------|---------------------|-----|
|     | 信号名                        | 解像度 | 垂直周波数(Hz) |                |                     |     |
| 1   | NTSC<br>NTSC-4.43<br>M-PAL | 525 | 59.94     | 15.73          | —                   |     |
| 2   | PAL<br>N-PAL<br>SECAM      | 625 | 50.00     | 15.63          | —                   |     |

### コンポーネント入力時 (ビデオ2入力)

| No. | 信号モード    |      |           | 水平周波数<br>(kHz) | ドットクロック<br>周波数(MHz) | 備 考 |
|-----|----------|------|-----------|----------------|---------------------|-----|
|     | 信号名      | 解像度  | 垂直周波数(Hz) |                |                     |     |
| 1   | 480/60i  | 480  | 59.94     | 15.73          | —                   |     |
| 2   | 575/50i  | 575  | 50.00     | 15.63          | —                   |     |
| 3   | 480/60p  | 480  | 59.94     | 31.47          | —                   |     |
| 4   | 720/60p  | 720  | 59.94     | 44.96          | —                   |     |
| 5   | 1080/60i | 1080 | 60.00     | 33.75          | —                   |     |
| 6   | 1035/60i | 1035 | 60.00     | 33.75          | —                   |     |

- 使用するビデオボードや接続ケーブルにより、正しく表示できないことがあります。  
この際には必ずH.POSITION, V.POSITION, CLOCK, PHASEを調節してください。
- 垂直周波数85Hz以上の信号を入力したとき、動画像が正しく表示できないことがあります。
- 本機では、水平周波数、垂直周波数、水平同期信号極性、および垂直同期信号極性によって信号モードを区別します。  
これら全ての要素が同じかきわめて似ている場合には、異なる信号であっても同一の信号として扱われる場合があります  
のでご注意ください。
- 垂直解像度512ラインを超える画像をFULL表示（縮小表示）すると、横線が間引かれることがあります。
- 本機は、下表に示す入力信号タイミングでご使用になることをおすすめします。フロントポーチやバックポーチが極端に  
長かったり、データ表示時間が極端に短かったりすると、登録された設定状態が正しく再現されない場合があります。

|         |                       | フロントポーチ       | 同期幅             | バックポーチ        | ブランキング幅       |
|---------|-----------------------|---------------|-----------------|---------------|---------------|
| 水平タイミング | 水平周波数<br>24kHz-52kHz  | 0.2 $\mu$ s以上 | 1.0-4.0 $\mu$ s | 1.2 $\mu$ s以上 | 3.5 $\mu$ s以上 |
|         | 水平周波数<br>52kHz-107kHz | 0.2 $\mu$ s以上 | 0.8-3.0 $\mu$ s | 1.1 $\mu$ s以上 | 2.3 $\mu$ s以上 |
| 垂直タイミング |                       | 9 $\mu$ s以上   | 25 $\mu$ s以上    | 400 $\mu$ s以上 | 450 $\mu$ s以上 |

デジタルメディア  
システム事業部

〒244-0817 横浜市戸塚区吉田町292番地

(045) 866-6302

## アフターサービス

- よりよいコンディションを長く持続するためには、定期的なメンテナンスが必要です。ぜひ「保守サービス契約」をご利用ください。
- ご使用方法のご相談や修理のご依頼などは、お買い上げの販売店が承ります。購入店名や電話番号、製品の形名などをメモしておくご連絡のとき便利です。

購入店名： \_\_\_\_\_

電話： \_\_\_\_\_ ( ) \_\_\_\_\_ 購入年月： \_\_\_\_\_ 年 月 日

品名：日立プラズマディスプレイ 形名：CMP4121HDJ

製造番号： \_\_\_\_\_

(製品の後面に表示されています。)

- 転居やご贈答品などで購入店に修理を依頼できない場合は、下記のサービス会社の窓口にご相談ください。

|       |  |                                      |
|-------|--|--------------------------------------|
| 東日本地域 | (株) 日立情映テック システムサービス課<br>横浜市戸塚区吉田町292番地                    | TEL：045-866-6261<br>FAX：045-865-9774 |
| 西日本地域 | (株) 日立情映テック 関西サービスステーション<br>大阪市此花区西九条1-28-13<br>(日立物流第3ビル) | TEL：06-6432-8486<br>FAX：06-6462-8486 |